

四国の産業観光資源

住友化学(株)愛媛工場歴史資料館 (新居浜市)

★施設・見学の概要

住友化学(株)愛媛工場は、もともと別子銅山で銅の製錬に伴って発生する亜硫酸ガスを回収して、硫酸や過磷酸石灰（肥料）を製造したのが始まりである。今や世界的な総合化学メーカーとなった同社のルーツであるとともに、現在でも同社基礎化学部門の基幹工場となっている。

この工場の敷地に隣接して建っている歴史資料館では、創業当時から現在に至るまでの愛媛工場の歴史を、写真や各種資料等で辿ることができます。



住友化学(株)愛媛工場歴史資料館

所 在 地	新居浜市惣開町5番1号
見 学 内 容	住友化学の創業から現在に至るまでの歴史的資料等
定 員	特になし
所 要 時 間	約30分～60分
公 開 時 間	9:00～16:00
休 業 日 等	土・日・祝日、年末年始等
予 約	要
料 金	無料
予約/問合せ先	TEL: 0897-37-1711 (住友化学(株)愛媛工場総務部)
U R L	http://www.sumitomo-chem.co.jp/ (住友化学(株)ホームページ)
ア ク セ ス	・JR新居浜駅から車で10分 ・新居浜ICから車で20分

(住友化学(株)愛媛工場 総務部 石黒道亮氏)

—見学内容と見所を教えてください。

当資料館は、住友銀行新居浜支店として明治34年に建てられ、昭和33年まで使用されていた由緒ある建物で、国の「登録有形文化財」や経済産業省認定の「近代化産業遺産」にもなっています。

展示室は1階と2階があり、1階には愛媛工場に関する資料を、2階には昭和30年頃の新居浜市の様子が分かる写真を展示しています。

愛媛工場は、大正2年（1913年）に肥料の製造を開始した後、1930～1950年代にかけてアンモニア・アルミニウム・石油化学・ソーダ工業等へ次々に進出しました。また、その後も時代の変化に対応しながら事業を変化させ、現在はそれらに加えて農薬・医薬原料・電子材料等を幅広く製造しており、操業開始以来、当社発展の原動力となっていました。

こうした100年近い歴史を持つ愛媛工場の歩みを、写真パネルや実際に使われていた機械器具、製造品、各種資料等により、分かりやすく紹介しています。

—読者へのメッセージをどうぞ。

当資料館では、当社の事業の変遷や新居浜市の発展の歴史を見ていただけるだけでなく、日本の近代化学工業そのものの歴史も垣間見ることができます。是非、お越しいただければ幸いです。

